

第 30 回 日本赤十字社診療放射線技師会 近畿ブロック研修会報告

期 日	令和 4 年 10 月 29 日(土)
担当施設	大津赤十字病院・大津赤十字志賀病院
会 場	大津赤十字病院 6 階会議室 (Web)
参 加 者	12 施設 113 名

今回の第 30 回 日本赤十字社診療放射線技師会 近畿ブロック研修会は、大津赤十字病院と大津赤十字志賀病院の協同主催で Web 開催として行った。

はじめに開催施設技師長である武田技師長の開会の宣言に始まり、小川修院長挨拶、特別講演として当院放射線科部長の川原清哉医師より「急性腹症の画像診断」として講演いただいた。救急撮影の業務でよく遭遇する症状からの画像の見方や、消化器系の疾患の注意点、婦人科系の疾患、泌尿器科系の疾患の注意点をわかりやすく話していただいた。また、地方によって遭遇する疾患では、福井では海産物によるアニサキス、和歌山では梅干しの種による閉塞、滋賀では淡水魚による寄生虫疾患などの画像も紹介された。CT 検査では脂肪濃度の上昇や CT 値の計測のために単純撮影が必要なことや、患者のバックボーンも読影に役立ち、依頼科からの情報も必須であることも話された。川原医師自体は放射線被ばくに気を付けて、無駄な被ばくのないように気を付けていることも話され、技術の進歩について期待されていた。

ディスカッションでは事前に依頼したアンケートをもとに、日常業務の運用や、講習会への参加、認定資格の習得状況について紹介し、Zoom の投票機能を用いて参加者からどのように感じているか投票してもらった。管理者が想定していることと、業務従事者が感じていることにある程度乖離があることが分かった。

研究発表では、9 演題の発表があった。Zoom を用い画面の共有や動画の配信を行い、活発な意見交換が行えた。

会員による研究発表と同時刻に、ハイブリッド形式にて施設代表者会議が行われた。

最後に、次期開催施設である京都第二赤十字病院正者技師長の挨拶があり、進行担当の中西課長より閉会の宣言を行った。